

ミスター・Kの英語教育ワンポイント指導ヒント

千葉県旭市教育委員会外国語教育アドバイザー

千葉大学 教育学部 学校教員養成課程

東京女子大学 現代教養学部 国際英語科 非常勤講師

加瀬 政美

【第15号】 小・中学校向けバージョン

英語学習が難しいと感じさせない、苦手意識を抱かせない英語の授業経営で大切な3つのポイント！

1 ヘルプデスクが備わっている学習環境！

それは、安心して学ぶことができる教室環境（学びの環境）構築です。

- ①生徒同士がフレンドリーに質問や意見が言え、相手の意見に対して「たしかに!、そうか!」「いいね～それ」「言おうとしたことそれ!」等、尊重できる雰囲気がある。
- ②ペアワークやグループワークで、相手のペースを大切に、「今の表現いいね～」「それ、こういう意味だね～」という共に学び合うことが自然にできる人間関係である。
- ③ペアワークから全体の前で発表になっても適度のプレッシャーがあり、間違えても先生や周囲や受け入れてくれていると感じることができる安心感がある。

2 1時間の授業展開（流れ）、学びのプロセスが学習者に見えていて、楽しさと学びのメリハリがある授業環境！

- ①指導の流れが見える化され、バラエティーに富み、子どもを飽きさせない。
- ②楽しい活動も学びにつながっていると感じさせる。
- ③個人差に配慮する指導展開にする。子どもの興味関心は一人一人違う。（スポーツ、食べ物等）

例) What sport do you like?

と聞いても、スポーツに興味のない子どもに無理やり応えさせているようでは、内発的動機づけは高まってこない。

- ④「きっかけ」を作る。

ご褒美シールもこの手のうち。最初はシールが目的だった（外発的動機）子どもも活動が続いていると自分の発表する場面で、褒められたり、できるようになったりすると自分もやってみようという気持ちが育つ。

3 Welcome 「間違い」

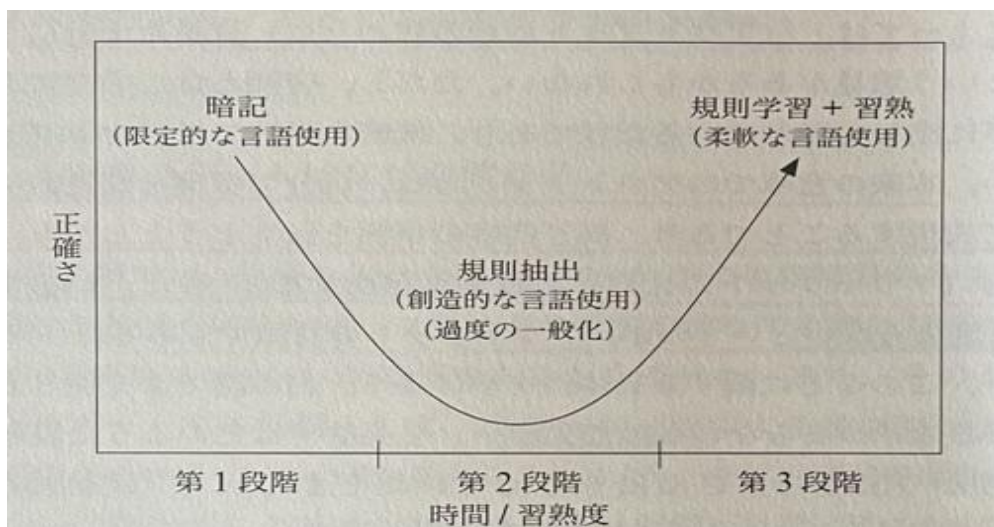
「間違い」 makes perfect 

Practice makes perfect. (習うより慣れよ→練習することが完璧になる) をもじりました。

子どもは、人の前で発表するには自信がない、間違えたらどうしよう、「何言ってるの」、と思われたくないという傾向にあります。特に、クラスで「はい、はい」と手を挙げて、先生

はそこ子を指して、「そうですね。正解！」という、まるでこの特定の子に学習進度をコントロールされている環境ほど、他の子が大切にされてない雰囲気を生み、発言したくてもできないのです。その時、先生は、「他に手が挙がらないの？」なんて言わないように！その手の挙げづらい雰囲気は、意外と指導者が作ってしまっていることが多いものです。誰にでもチャンスという環境を作ってみましょう。

最後に、母語や第二言語習得には、3つのプロセスを経過すると言われている「U字型発達曲線」(Carlucci & Case,2013;Kellerman,1985;Kuczaj,1977) と呼ばれる曲線があります。廣森(2016)は、子どもの母語習得を含む認知的発達、さらに第二言語習得においても学習者はおおむね次の図のような3つの段階から成る発達プロセスを辿るとするものであると述べています。



第1段階

丸暗記段階で、使用言語は正解だが極めて限定的

第2段階

言いたいことを使用する段階なので間違いの頻度も高くなる

第3段階

規則、例外や言いたいことも言えるようになり順応できるようになる段階

小学生から中学生は、第1段階から第2段階なのでしょう。伸び代大にするコツは、間違いから学ぶ学習環境の構築です。😊「間違い」 makes perfect ！です。

参考文献

Carlucci, L., & Case, J. (2013). On the necessity of U-shaped learning. *Topics in Cognitive Science*, 5, 56-88

Kellerman, E. (1985). If at first you do success... In S. Gass & C. Madden (Eds.), *Input in second language acquisition* (pp.345-353). Boston, MA: Heinle & Heinle.

Kuczaj, S.A. (1977). The acquisition of regular and irregular past tense forms, *Journal of Verbal Learning and Verbal Behavior*, 16, 589-600.

廣森友人 (2016). 『英語学習のメカニズムー第二言語習得研究にもとづく効果的な勉強法ー』 東京：大修館書店